

# 振込め詐欺防止の 新出口作戦

糸井正幸

一般社団法人情報セキュリティ研究所 個人認証分科会 リーダー  
株式会社セフティーアングル 代表取締役



161.4億円

9,215件

振込め詐欺(オレオレ詐欺)

令和2年

年間被害総額/年間被害件数

(警察庁HP)

<https://www.npa.go.jp/safetylife/seianki31/higaijoukyou.html>



受け子や出し子は逮捕できても

**首謀者の逮捕は困難**

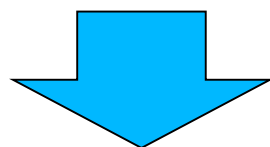


若者が受け子や出し子にされて

しまう**不幸**



**弱い老人からお金をだまし取る  
卑劣な犯罪を  
絶対許してはならない**

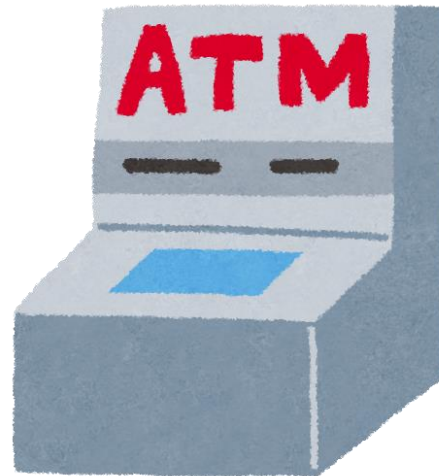
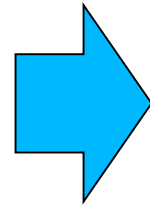


**老人の敵は老人が倒す  
振込め詐欺被害を無くす**

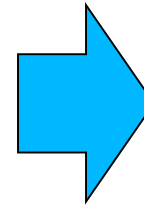
# 振込め詐欺の流れ



騙される  
(入口)



振込む  
(出口)



絶望する

## 入口作戦

入口で振込め詐欺を防ぐ作戦

電話を録音する、合言葉を家族間で決める等

## 出口作戦

出口で振込め詐欺を防ぐ作戦

金融機関がATM利用老人客に注意喚起する等

## 課題

いずれの作戦も**確実な防止は困難**

## 理由

一般に老人の判断力は若い頃に比べて低下。

そのため、一番の防止策は、老人が家族に電話やメールで確認すること。金融機関等も確認を呼びかけている。

しかし、**老人は騙されている意識が無く、故に、家族に確認を取るという行動を起こさない。**

そこで

半自動的に家族等に確認し、

確認のタイミングを、

現金引出しor振込みという

効率的なタイミング、つまり出口とした

**新出口作戦**を考案



情報セキュリティ上の認証の基本として、下記の通り、「複数要素」、「複数経路」、そして「複数認証者」の3つがありますが、本システムは、特に、「複数認証者」が特徴です。



# 具体的な犯罪防止方法

## Step3: 問い合わせ

何に使うの？

「それは詐欺だ」



チェック代理人のスマホ

※チェック代理人の例：息子・娘・孫



## Step2: 問合せ

限度額以上の振込みor現金引出しの  
操作がありました

銀行



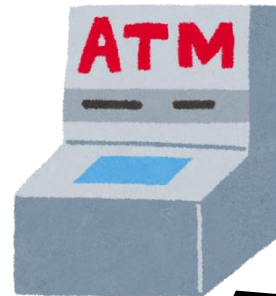
## Step4: 通知

「犯罪の可能性ある」

「STOP」

## Step1: 通知

限度額以上の振込みor現金引出しの  
操作を受けました



## Step5: 指示

「STOP」

## Step6: 通知



親のキャッシュカードが  
不正に搾取された



祖父or祖母

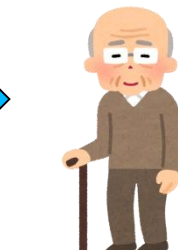


詐欺犯

親がだまされた

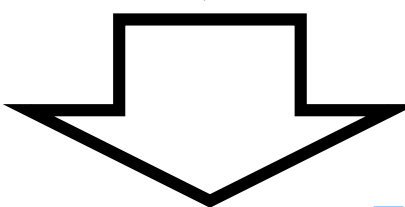


詐欺犯



祖父or祖母

振込め詐欺防止  
不正現金引出し阻止

**新出口作戦**については  
**ユーザニーズ調査**と  
**警視庁意見調査**を  
**実施**  
  
**結果は良好**

## 息子・孫世代

約6割の人が「活用したい」

3割以上の人が親を説得できる

## 老人世代

約3割の人が「活用したい」

## 警視庁犯罪抑止対策本部

### 警部・警部補の感想

「新出口作戦にはかなり効果が期待できる。」

新出口作戦を構築した場合は、  
「警視庁も協力をする。」

- 昭和43年 ・関西学院大学 経済学部卒業
  - 昭和43年 ・ユアサ商事(当時 湯浅金物)入社
  - 平成18年 ・CACナレッジ退職(CACとユアサ商事の子会社)
  - 平成18年 ・(株)セフティーアングル 設立 代表取締役就任
    - ・個人認証&なりすまし犯罪防止の研究を開始
  - 平成24年 ・千葉大学と共同研究を開始
  - 平成27年 ・電子経済産業省構築事業主催のビジネスコンテストで奨励賞を受賞
  - 平成29年 ・某ソフトベンダーと中間者攻撃対応特許の非独占の通常実施契約を締結
  - 令和 2年 ・某ソフトベンダーと中間者攻撃対応特許の非独占の通常実施契約を締結
    - ・中間者攻撃対応特許をヒントに、振込め詐欺防止のシステムの提案活動を開始
    - ・上記振込め詐欺防止の活動の為、クラウドファンディングで目標額を達成
    - ・複数所有物認証の特許を取得
  - 令和 3年 ・情報セキュリティ研究所 個人認証分科会を立ち上げ、リーダーとなる。
    - ・某金融機関と中間者攻撃対応特許の非独占の通常実施契約を締結
- 現在に至る

以上